

2022年(令和4年)
10月21日 金曜日
第1896号

京都自動車新聞



近畿交通共済 サービスメニューを強化
京整振 電動車に関するアンケート
輸入車部会 3年ぶりの合同試走会
ひと 京都府自動車部品商組合 井上理事長
◀ 京車協 樹脂溶接研修を開催

3
5
6
8
7

発行所 京都自動車新聞社 京都市伏見区竹田向代町 51-5 (京都自動車会館内) 電話 (075) 672-0552 ファクス (075) 682-0205 メール access@kyotojidosh-np.jp https://kyotojidosh-np.jp

追跡 データベース

— 東京商工リサーチ編 —

倒産数、反転増の兆し

7月 コロナ破綻は増勢続く

7月の負債額1000万円以上の全国企業倒産件数は、前年同月比3.7%増の494件と4カ月連続で前年を上回った。対前月では3カ月ぶりに減少したものの、反転増の兆しは強まっている。このうち京都は23件。東京商工リサーチがこのほど公表した。

総数のうち、中小企業倒産は493件で、従業員10人未満が全体の89%を占めた。産業別では、サービス業が155件と、引き続き10カテゴリー中最多で推移するも、前年同月比では3カ月ぶりに減。建設業、金融・保険業、不動産業、運輸業、情報通信業は増

産業	倒産件数	
	7月	前年同月比(増率)
農・林・漁・鉱業	5	▲16.66%
建設業	96	37.14%
製造業	51	▲1.92%
卸売業	60	▲15.49%
小売業	50	▲13.79%
金融・保険業	2	-
不動産業	23	43.75%
運輸業	26	30.0%
情報通信業	26	30.0%
サービス業ほか	155	▲4.90%
合計	494	3.78%

加し、農・林・漁・鉱業は減少に転じた。このほかの3産業は低減状況を保った。

一方、20年2月以降に起こったコロナ関連の経営破綻は、9月22日現在で4283件。業種別では、飲食業が突出し、建設業、アパレル製造・販売、飲料品卸売業、宿泊業の4業種がこれに続く。状況は変わらない。いよいよコロナ関連融資の返済開始が本格化する頃合いに差し掛かってきた。ところが、資材高や物価高など経営環境の悪化も相まって、返済原資を捻出できないケースが散見される。加えて、ここに来て中堅規模以上の大型倒産も目立ってきた。

9日のゲームでは、ハーフタイムに11月1日から3カ月間の無事故・無違反を目指すKTKラリーのスタート式を実施し、目標達成に向け機運を高めた。

荒木会長はスタート式で、「我々は事故の無い社会づくりに貢献できるよう、普段から運送のプロとして交通安全対策事業や環境問題に取り組んでいる。そのような中、11月1日からの3カ月間は『絶対事故を起こさない』ように特に気を付ける期間。これから選手宣誓をしてもらい、11月1

ハンナリーズ試合で 業界アピール

京ト協/トラ日イベ

日に向け頑張っている」とあいさつ。

舞妓ロジスティクス(柏秀明社長、京都市伏見区)でドライバーを務める向孝幸さんが「私たちはプロドライバーとしての誇りを持ってラリーに参加し、細心の注意を払って運転技術を駆使し、参加者全員が無事故・無違反を達成できるよう努めたい」と力強く



向さんが選手宣誓(上)、シュートする荒木会長(下)

宣誓した。その後、全員が目標を達成できるようにと思いを込めたバスケットボールを、向さんが荒木会長にパス。受け取った荒木会長はリングめがけてシュートし、ラリーの成功を祈願した。

試合開始前には近畿トラック協会(中川才助会長)がつくった3パターンのスポットCMを放映。燃料サーチャージ

荒木会長 90秒動画で実情訴え

京都府トラック協会の荒木律也会長は9日の試合開始前に放送した90秒動画で、「我々は運送のプロとして、指定の時間・場所へ荷物を届けることは当然のことながら、常に安全運行を心掛け、交通事故の無い社会づくりに貢献できるよう、真摯に事故防止対策に取り組み、快適で安全な社会の実現を目指している」と説明。

更に「コロナ禍でエッセンスワーカー(日常生活に必要な従事者)と呼ばれることもあるが、我々の業界では、労働時間や賃金の関係から人材不足が顕著となっている。皆さまの手に確実に荷物が届くその裏側には、必死で働いているドライバーがいることを忘れてはならない。適正運賃の収受には、皆さまの力添えが何よりの頼り」と理解と協力を呼び掛けた。



京運支局/合同防災訓練

迅速・確実な情報伝達を AED講習や消火訓練も実施

京都運輸支局および関係団体合同防災訓練が5日、京都市消防局伏見消防署の協力の下、行われた。

伏見消防署の松田憲司朗氏は「実際に火災が起きた際にどのような行動を取るのか訓練するのが狙い。自らの安全確保と



来局者の誘導をしっかりとするとともに、通報含め情報伝達は迅速、確実をお願いしたい」と講評。

京運支局の藤原幸嗣支局長も「訓練は参加し続けることが大事。常にそのような意識を持って行動してほしい。これから一緒に継続していきましょう」と総評した。

訓練に先立ちAED(自動体外式除細動器)の基礎知識や注意点などを学ぶ講習会や訓練後には消火器の使い方実習も実施した。当日は関係団体などからAED講習に12人、防災訓練には45人が参加した。

豊富なラインナップ

Japan venture

DT-3300

HITACHI Inspire the Next

HDM-9000

TOOLPLANET TECHNOLOGY

Diagnostic Tool TPM-3

AUTEL

MaxiSys Ultra

LAUNCH

X-431 PAD VII

G-SCAN

G-SCAN | 2 Tab

株式会社 大黒商会
DAIKOKUSHOKAI

本社 京都市右京区西院平町 10 番地
TEL: 075-311-0141

営業所 京都・南・亀岡・舞鶴・福知山・福井・小松・金沢・奈良・彦根